

人生の

道しるべ

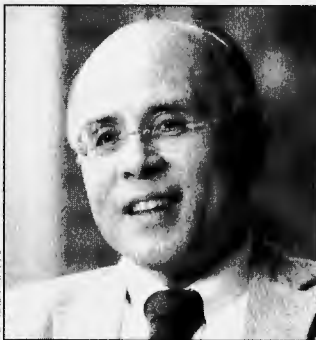
あなたの悩みに答えます

もりもと
森本あんり

(国際基督教大学教授)

一九五六年、神奈川県生まれ。プリンストン神学大学院博士課程修了(PHD)。著書に「反知性主義」「不寛容論(いずれも新潮選書)」など。

写真 遠藤 宏



好きでも惹かれたわけでもないと感じました。
離婚したいけど、いけないのでし
ようか？

統一教会の合同結婚式のように後悔しています。神の導きと決めつけたクリスチャンたちに腹立たしい思
いです。

(福岡県、六十代、男性)

回答

何度かこうして人生相談のお便りに接していると、自分がいつの間にか探偵稼業に鞍替えしたかのような気分になってきます。

真摯にお答えしようとするほど、ご本人の置かれた客観的な状況を正しく理解しなければなら

相談 好きでもない妻と離婚したい

三十年前にクリスチャンの婦人の紹介で、いまの妻と結婚しました。二人とも求道中でしたが、神様が合
わせたものを人が離してはならない

と散々言われ、それを信じて結婚しました。

二人して洗礼を受け、子どもにも恵まれましたが、妻はまったく教会に行かなくなり二十年。子どもは三十歳。夫婦の会話もなく、もともと

のに、判断の根拠となる情報はごく限られており、こちらから尋ね返す
こともできないからです。

とりわけ、今回のような相談には、ご本人以外にも当事者と言うべき方がおられます。

これは夫の側の言い分ですが、妻はどう思っているのか。もしかしたらまったく違う見方が出てくる
かもしれません。そのことを聞かずに、結婚や離婚という問題に第三者
が口出しをするのは、できれば避け
たいところです。

相談には、悩み事の末に出てくる
具体的な質問が必ず一つか二つ含ま
れています。

今回の質問は、「離婚したいけど、
いけないのでしょうか？」です。ま

ずここからお答えしておきましょう。

離婚がいけないことかどうかを、
教義や信仰の問いとして考えるなら、ご本人の教会のことを尋ねなければなりません。カトリックとプロ
テスタントでは、答えが大きく異なる
からです。

カトリックでは、結婚はキリスト
が定められた秘跡の一つに数えられ
ていますので、ひとたび完成した婚
姻関係を解消することは原則的にで
きません。そもそもその結婚の敷居が
とても高いのです。

だからヨーロッパでは若者たちが
なかなか結婚に踏み切れず、同棲関
係が結婚と同じように扱われること
になっています。

でも、わたしの探偵勘(あまりあ
てにならないけど)からする限り、
相談者はカトリックではなくプロテ
スタントの方だろうと思います。

なぜかと言われると心もとないの
ですが、カトリック信徒ならそもそ
もこういう質問をこのコーナーに送
ってくることはないだろうと思うか
らです。

プロテスタント教会では、結婚は
神の祝福ではあっても秘跡ではあり
ませんので、離婚も可能だし珍しく
ありません。プロテスタントの多か
ったアメリカでは、結婚と離婚を繰
り返す人もあり、離婚はむしろ形ば
かりの結婚を維持するより推奨され
る傾向にあります。

以上からすると、この相談者には

「離婚はいけないことではありません」とお答えするのが正解なのだろうと思います。自分で「離婚したい」と明言するほどはつきりしているなら、心中の思いを対外的な現実と一致させるほうが誠実だ、という見方もできるでしょう。

「團扇や太鼓で囃し立てることまではしません、そこまで言うなら、さっさと離婚したほうが自分だけでなく配偶者にとってもいいと思います。」

さてしかし、相談者の悩みはこれで解決するでしょうか。

「しないと思います。なぜなら、ご本人がほんとうに聞きたいのは、「離婚すべきかどうか」ではないからです。」

ていたのでしよう。

もしほんとうに離婚したかったなら、とうの昔にしていたはずで。

「クーリングオフ」の期間はとっくに終わっています。

あなたが悩んでいるのは、自分がその覚悟も決断もできぬままずるずると来てしまったことです。

だからあなたは、この回答を読んだあとでも離婚には踏み切れないと思います。結婚したのが人のせいだったように、離婚できないのも誰か人のせいなのです。

でも、離婚を妨げているのは、教義でも信仰でもありません。ご家庭の事情でも、成長した子どものためでもありません。ひとえにあなたの弱さのゆえです。

自分がとるべき次のアクションを他人に決めてもらいたくて相談する人なんて、じつのところほとんどいません。だから、相談を受けて「じゃこうしたらいいよ」などと提案しても、問題の解決にはならないのです。

この相談者が苦しんでいるのは、そういう夫婦関係に立ち至ってしまった自分の不甲斐なさです。その責任は自分にあるのに、それを認めることができず、どうしても誰か他の人のせいにしてしまう。そういう自分の根っからの弱さに苦しんでいるのです。

人の紹介でいまの妻と結婚した？
もともと好きでも惹かれたわけでもなかったのに、神様が合わせたのだ

「神が合わせたものを人が離してはならない」という聖書の言葉は真実です。

それを信じて結婚したのなら、それを信じ続けて結婚生活を送ってください。はじめから信じていないなら、いまも信じているふりをするのはやめなさい。妻の信仰を云々するより、まずはあなたがその自分の弱さに正面から向き合うことです。

人間の真実に神の恵みが宿るのは、それからです。



投稿要領

日常の相談事や悩みについて、400字詰め原稿用紙1枚程度で、住所、氏名、年齢、職業を記入のうえ(掲載は匿名)、ご送付ください。掲載分には、図書カードを進呈致します。原稿は、内容を損なわない範囲で、一部を修整させていただく場合がございます。原稿は返却できません。掲載分は電子メディアや出版物などで公開する場合がございます。あらかじめご了承ください。

宛先

〒135-8137 東京都江東区豊洲5-6-52 NBF豊洲キャナルフロント11階
株式会社PHP研究所 Voice編集部 人生相談係
メールでも投稿を受け付けております。

voice@php.co.jp

からと散々言われて結婚した？ 続
一教会さながらに、神の導きだと決
めつけたクリスチャンのせいで、後
悔し続ける三十年になってしまっ
た？

冗談も休み休みにしてください。
ここまで立て続けに人のせいにする
なんて、腹立たしいのはあなたでは
なく、この投稿を読む方です。

あたかも、自分の意思はまったく
なくて、すべて周囲が勝手に決めた
かのようです。

たとえ仮にそうだったとしても、
三十年の結婚生活です。その責任の
半分はあなたにあります。「夫婦の
会話もない」と嘆きますが、会話の
半分はあなたがするものです。

三十年のあいだ、あなたは何をし